



特別広告企画



スペシャルインタビュー

株式会社朝日新聞出版 営業本部 メディアビジネス部

本企画ではAERA with Kids編集長の鈴木顕が聞き手となり、各企業のキーパーソンに取材を行います。編集部で培った取材力を活かすと共に、貴社のブランドイメージの向上に貢献させていただきます。

企画名 : AERA with Kidsスペシャルインタビュー

対象期間 : 通期

体裁 : 【WEB】「AERA with Kids+」オリジナルタイアップ+ 【雑誌】「AERA with Kids」タイアップ

内容 : 経営者や事業責任者の方にご登場いただき、AERA with Kids編集長 鈴木顕によるインタビュー取材で誌面を構成

テーマ例 : 企業理念、歴史と今後のビジョン、新社長の所信表明、子育て支援、働き方改革、SDGs関連活動、社会貢献活動、DE&Iに関する取り組み等、様々なテーマにご対応が可能です。

スケジュール : お申込締切 掲載75日前／オリエン 掲載60日前／取材 掲載45日前
初校ご確認 掲載40日前～35日前／校了 掲載20日前 ※WEBのみの場合は掲載2日前校了

※正式発注前に掲載内容の事前ご相談をお願いいたします。



Message

『AERA with Kids』は、「子育てにプラスを、学びにワクワクを。」というメッセージを掲げ、雑誌、WEBメディア、SNS、動画などさまざまなメディアを通じて、忙しいママ、パパたちに日々情報をお届けしています。

子育てや教育をめぐる環境は、近年大きく変化しています。たとえば「イクメン」という言葉がもてはやされた時代は終わり、父親が子育ての当事者であることが当たり前の時代になりました。教育現場では主体的に学ぶ態度や、思考力、表現力が重視されるように。偏差値一本だった学校選びの「ものさし」も多様化し、社会で活躍できる人材を育てる方向へとシフトしています。

AERA with Kidsは、実用的な子育て情報に加え、子どもたちにおすすめの体験や学びの情報、そして社会の変化をとらえた最先端の教育ニュースを発信し、ママ・パパが「日々の子育てをアップデートしていくメディア」としての評価をいただいています。社会をリードする企業、団体のみなさまとともに、子育て世代に届けたい価値ある情報を発信していけたらうれしいです。

Profile

鈴木顕（すずき・あきら）

子育て情報誌『AERA with Kids』、WEBメディア『AERA with Kids+』編集長
子ども向けニュース月刊誌『ジュニアエラ』編集長

教育、大学分野を長く担当し、週刊朝日記者、『AERA dot.』副編集長、
AERAムック『大学ランキング』編集長などを経て、2022年から現職。
中3女子、中2女子、小2男子の3人を子育て中。

「社会的子育て」の輪を 循環させ、広げるために

核家族化が進み、地域とのつながりも希薄になった現代では、家庭だけで子育てを完結せざるをえないケースが多々あり、それが子育て世帯の負担や悩みになっています。この状況を変えていくためには、社会全体で子どもを支え、企業や自治体、行政などが協力して子育て世帯を支援する「社会的子育て」の取り組みが必要です。

『AERA with Kids』はこれまでも、社会的子育てに意欲的・先進的な企業や自治体、行政などを取材し、働きやすい職場環境の整備、育休取得推進などの制度の充実といった新たな取り組みを発信してきました。これらの企画に多くの読者が関心を寄せており、好意的に受け止められているようです。

私たちはメディアの強みである「発信力」を生かし、皆様の新たな挑戦や取り組みを「第3者の視点」という客観性をもって届けることが可能です。オウンドメディアや自社SNSなどとは異なる接点、インパクトで子育て世帯とつながることができます。私たちは皆様と読者との間に立ち、「橋渡し」の役割を担っていきたいと考えています。

子育て世帯の関心事や課題を広く社会に届けること、CSRや雇用などの取り組みを読者に周知し、ブランド価値を高めること——。ステークホルダーや子育て世帯を見守る人たちをも巻き込み、社会的子育ての輪を大きく広げることで、誰もが働きやすく、子育てを楽しめる、「Well-being」な社会が実現することを期待しています。



<事例①> 連載企画：子育てしやすい会社って？



企画のTOP
ページはこちら



育休の促進や仕事と育児の両立などについて、独自のアイデアや方法で社員をサポートしている企業を、編集部のママ社員が訪問し、紹介する連載企画です。取材を通して、「子育てをしやすい職場」「パパママにやさしい会社」について考えていきます。

子どもがいる世帯においても、共働きの世帯の割合は年々増加しています。働くパパママは、他社の子育て支援制度に対しても関心が高く、転職の大きな動機にもなっています。

この傾向は子育て世代に限るものではありません。厚生労働省が2025年におこなった「若年層における仕事と育児の両立に関する意識調査」によると、若年層の約7割が会社を選ぶときに、「仕事（キャリア）とプライベートの両立」を意識していると回答しています。子育て支援制度の充実と周知は、企業の採用活動において重要な課題となっています。



● 連載記事一例 ※タイトルをクリックいただくと記事がご覧いただけます

- ・ [育休取得で同僚にも「祝い金10万円」三井住友海上、実施2年の効果は 「職場内で男性育休が話題になることが増えた」](#)
- ・ [積水ハウスが「男性育休」を経営戦略に据えるワケ 制度をすすめるうえで一番の「壁」になったものとは？](#)
- ・ [「子連れ出勤」「社内学童」を実施したコクヨ 利用した社員から“好評”だった理由と課題とは？](#)
- ・ [客室乗務員らが社員の子育てをサポート！ ANAの「チャイルドケアステーション」とは？](#)
- ・ [男性育休取得の促進が長年課題だったNEC 今年度100%を実現するための“改革”とは？](#)
- ・ [「お子さんがお熱です！すぐお迎えに来て」1カ月間パパママに“なりきる”キリンの研修 その効果は？](#)

<事例②> 特設写真サイト「育休パパ with Kids」



ちいさな
「はじめて」を
いっしょに。

男性の育休取得率は4割を超えました*。
もっと家族がいっしょに
子育てを楽しめる社会を目指して。
子どもと過ごす毎日が、
豊かで幸せなものになるように。
わが子と出会った
「あのとき」のきもちを忘れないために。
育休パパの皆さんから、
素敵な一枚をお寄せいただきました。
*厚生労働省「2024年度雇用均等基本調査」によ
ると、
男性の育児休業取得率は過去最高の40.5%



育休パパの輪、
広がっています！

参加企業 ※企業名五十音順・別グループ

株式会社朝日新聞社

インターグ株式会社

永大産業株式会社

株式会社
NTTデータグループ

NTN株式会社



特設サイト
はこちら



男性の育休取得率は4割を超えています（厚生労働省・2024年度雇用均等基本調査）。『AERA with Kids』も「パパの子育て」特集を組むなど、男性の育休や子育てについて、力を入れて取り上げてきました。

そして2025年9月に新たなプロジェクトとして、育休をとったパパと子どもたちの日常の写真を集めた特設写真サイト「育休パパwith Kids」をオープンしました。

このプロジェクトは、積水ハウス株式会社による男性の育児休業を推進する取り組み「IKUKYU. PJT」に賛同し、共同で企画したものです。写真は「IKUKYU. PJT」に参画する企業・団体に所属の、育休取得経験がある男性社員・職員の方からご応募いただきました。とっておきの素敵なお写真に、自然と笑みがこぼれます。

私たちの強みであるアイデア力・企画力・拡散力は、なにか皆様のお役に立つことがあるかもしれません。親が子育てを楽しみ、子どもたちがワクワクする、そんな未来の社会を作るために、企業や自治体、行政などとも、コラボレーションしてきたいと考えています。

● 参加企業・団体

※企業名五十音順・グループ別
2025年9月19日現在

株式会社朝日新聞社／インターグ株式会社／永大産業株式会社／株式会社NTTデータグループ／NTN株式会社／国立大学法人大阪大学／株式会社オカムラ／オムロングループ／公益社団法人関西経済連合会／京セラ株式会社／株式会社熊谷組／グラクソ・スミスクライン株式会社／株式会社コーソル／コクヨ株式会社／株式会社SAKURUG／株式会社ジェイフィール／住友ゴム工業株式会社／積水ハウス株式会社／損害保険ジャパン株式会社／株式会社竹中工務店／帝人株式会社／テルモ株式会社／東芝グループ／トランスコスモス株式会社／トレンダース株式会社／西日本旅客鉄道株式会社／日本新薬株式会社／野村アセットマネジメント株式会社／野村ビジネスサービス株式会社／丸石製薬株式会社／マンパワーグループ株式会社／株式会社みずほフィナンシャルグループ／株式会社明治／Retty株式会社

以下リンクからご覧いただけます
<https://dot.asahi.com/dir/ikukyu/>

<事例③> 社会課題について話し合う「AERAラウンドテーブル」

朝日新聞出版では、社会課題について企業や省庁の方々とディスカッションを深める「AERAラウンドテーブル」を開催しています。第2回は『AERA with Kids』が主催を務め、「男性育休」をテーマに、活発に意見を交わしました。

ご参加いただいたのは、サイボウズ、積水ハウス、日本生命、厚生労働省、スウェーデン大使館の皆様。最新の調査データなどを見ながら、各社の取り組みについて伺いました。

育休取得を積極的に希望する男性が増加し、企業も優秀な人材確保のために、子育て支援制度の充実が喫緊の課題であることが分かりました。一方で「育休取得前や取得中に何をすればいいのかが正直分からなかった」という声もあったそうです。

男性育休のほかにも、子育てに関する社会課題は山積しています。私たちは引き続き注目し、取り上げていく予定です。

●第2回「AERAラウンドテーブル」の様子は、『AERA』2025年9月29日号に掲載し、『AERA with Kids+』にて配信中です。以下からご覧いただけます。

<https://dot.asahi.com/aerakids/articles/-/265774>



座談会

の休職で、状況に応じ増額される場合があります。

由 日本では、今年4月から、両親ともに子の出生直後に14日以上育休を取った場合に1か月間は手取り10割相当の給付が受けられる制度を導入しました。法律上の育休は原則1歳までですが、育休の半年までは約7割、それ以降は約5割の給付が受けられる仕組みになっています。

酒本 世界でもトップクラスの制度がありながら、男性で利用する人が少ないことに問題があります。

パパの育児を あたり前に

「男性育休」と働き方を語り合う

様々な社会課題を議論する「AERAラウンドテーブル」。第2回は「男性育休」をテーマに、各企業や厚生労働省、スウェーデン大使館の担当者が縦横無尽に語り合った。働き方や子育てをめぐる課題がみえてきた。

構成 ライター 経緯明子 写真撮影 松永卓也

企業によって様々な制度があり、男性育休の取組にも様々なやり方があった。進行は鈴木健太郎・AERA with Kids編集長（左から4人目）

フラスティンや在宅勤務という選択をしてくれることも大事です。現在、さらに男性の育児参加を推進するために、各部署から若手社員が集まって話し合っています。

日本生命
経緯明子
鈴木貴美恵さん

サイボウズ
エンタープライズ営業課課長
酒本健太郎さん

提案力アップになる

酒本 男性は圧倒的に出産や育児の知識が足りない。出産したら1か月は休を取る必要がある。新生児の睡眠リズムが整う期間は3か月と言われています。睡眠不足で家事育児すべてやるのは無理です。また、夫に対する妻の愛情表現は、夫が育児をする上向き、しなやかになります。30歳で出産したとして、人生100年時代の残り70年、間を空けて長く生きるためには、絶対に育休を取るべきです。（笑）誰のために育休を取るべきか、本人のために育休は取るべきだと思います。

日本生命
経緯明子
鈴木貴美恵さん

サイボウズ
エンタープライズ営業課課長
酒本健太郎さん

積水ハウス
ダイバーシティ推進部長
横山亜由美さん

積水ハウス
ダイバーシティ推進部長
横山亜由美さん

積水ハウス
ダイバーシティ推進部長
横山亜由美さん

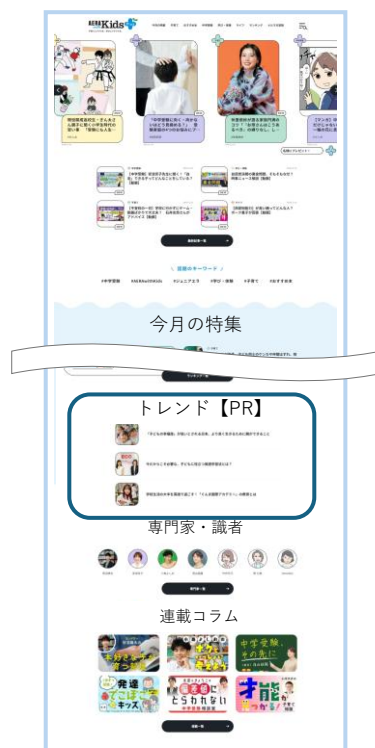
- ① **1号1社**のみの企画。
- ② **AERA with Kids編集長 鈴木顕**がインタビューアー。
- ③ 「AERA with Kids」と「AERA with Kids+」（5,000PV／月保証）のセット掲載で広範なリーチを獲得。
- ④ 企画特別料金を適用。

<掲載イメージ>

「AERA with Kids」タイアップ



「AERA with Kids+」各ページから誘導



「AERA with Kids+」内
タイアップページ



AERA
DIGITAL

誘導枠から送客



Instagram／X（旧Twitter）
公式アカウントから誘導

※SNS投稿にはPR表記と広告主表記が付きま

メニュー	定価	特別企画料金
【雑誌】『AERA with Kids』4c2pタイアップ 【WEB】『AERA with Kids+』オリジナルタイアップ (5,000PV保証／1カ月掲載)	5,000,000円	4,000,000円
【WEB】『AERA with Kids+』オリジナルタイアップ 5,000PV保証／1カ月掲載	2,000,000円	1,800,000円
【雑誌】『AERA with Kids』4c2pタイアップ	3,000,000円	2,400,000円
オプション		
ブースト各種 Yahoo!ニューススポンサードコンテンツ転載・ Instagram・X・Outbrain	700,000円～	各媒体お問い合わせください
抜き刷り (5,000部)	750,000円～	5,000部以上、またはweb内容から抜き刷り制作など ご希望の内容でお見積します。
タイアップ二次利用	300,000円～	ご希望の用途に応じて別途お見積りいたします。

※上記料金はすべてグロス・税別、制作費込みの料金です。WEBはオリジナルTU（HTMLによる制作）です。
 ※タイアップページは主に自社サイト内からの誘導に加え、レコメンドウィジェット等を利用して外部サイトからの集客を行います。
 ※首都圏以外での取材の場合、ライター・フォトグラファターの交通費を別途頂戴いたします。

お申込み締切：実施希望の75日前

ターゲット

- 30代後半～40代のミドル世代ママ・パパがメインユーザー
- 小学生のお子さんがいる家庭が約7割
- 3世帯に1世帯は年収800万円以上

特徴

- 未就学児から小学生の親に役に立つ、実践できる情報をお届け
- Instagramを中心としたSNSを強化
- 編集部を選考を経た公式アンバサダーによる発信

小学生の子を持つママ・パパ向けの子育て実用誌 子育てのヒントを、多角的にお届け

コンセプトは、日々の子育てを「ラクに」、そして「楽しく」。たくさんの専門家に取材し、新しい知見や研究成果、前向きに子どもと向き合うためのアドバイスを紹介。きょうだい子育て、プレ思春期、中学受験、発達障害、不登校といった「子育て」にかかわる情報から、読解力、算数力、本選び、自由研究、遊びや体験といった子どもの「学び」や「生きる力」を高めるヒントまで。親が知りたいこと、子どもといっしょに考えたいこと、そのすべてが『AERA with Kids』の守備範囲です。



創刊…………… 2006年3月
価格…………… 998円
判型…………… A4変型
総頁数………… 148頁（予定）



フォロワー
約 **5.0万人**



チャンネル
登録者数 **9,190**

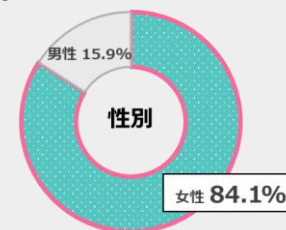
規模

発行部数
19,500部

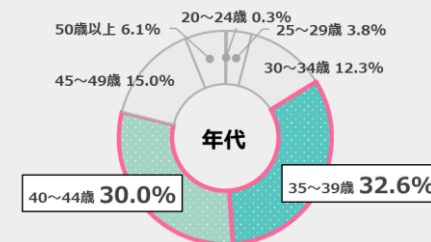
発行時期
年4回刊行3月・6月・9月・12月
(各5日発売)

発行部数：印刷証明付き発行部数2024年7月～9月平均

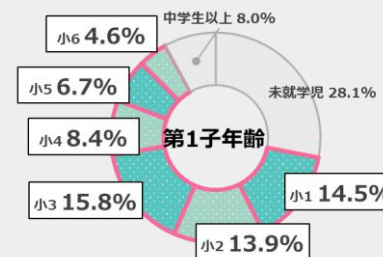
読者 親の性別



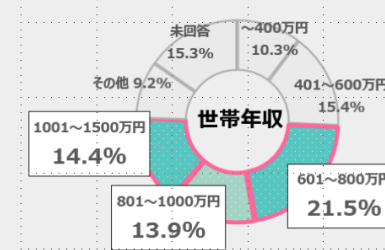
親の年代



第1子年齢



世帯年収



※『AERA with Kids』 2023年夏号～2024年春号 読者アンケートより (n=805)

ターゲット

- コアは首都圏在住の小学生のママ・パパ
- 子どもの学びにはお金と時間をかける世帯年収800万円以上の親
- 中学受験を視野に入れ、SNSで先輩ママ・パパの情報を集める

特徴

- 教育の最前線にいる専門家から信頼の高い情報を発信
- ママ・パパのインスタアンバサダーが活躍。広告起用可。
- 動画や音声、漫画コンテンツも充実。SNSプロモーションもご提供

「子育てを前向きに、子どもの成長にプラスを

全国の小学生のママ・パパと専門家、編集部がつながり、
子育ての「もっとよくなる」ヒントが見つかる



子育て実用誌『AERA with Kids』にプラスαの情報を、
という想いから2024年2月21日にサイトを立ち上げました。

長年の雑誌発行のなかで培った、教育の最前線にいる専門
家ネットワークを駆使し最新の教育事情を組んだ信頼性・
専門性の高い情報を発信します。

また「小学生」の「学び・体験」を深掘りする子育てサイ
ト、偏差値だけに頼らない中学受験情報を発信するサイ
トは他に類を見ません。SNSアカウントによる情報発信とし
て日々のインスタ投稿、YouTubeチャンネルで動画を配信
します。

100名越えのパパ・ママアンバサダーや起用したプラン等、
バラエティある広告メニューを取り揃えています。

規模

月間PV

約3,546,000PV

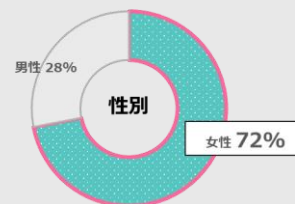
月間UU

約983,000UU

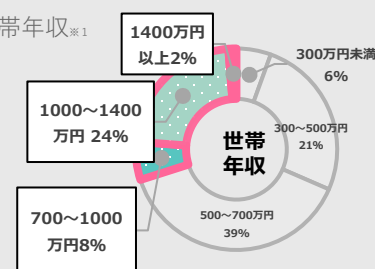
* 2025年3月度月平均、Google アナリティクス4調べ

ユーザー

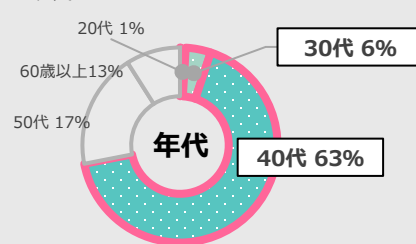
性別※1



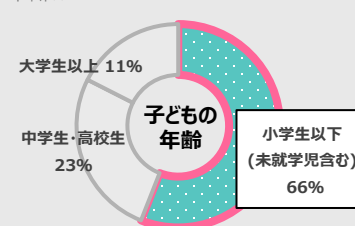
世帯年収※1



年代※1



子どもの年齢※2



※1 AudienceOne ID 2024年10月1日～12月31日

※2 AudienceOne 3rdPartyCookie 2024年10月1日～12月31日

株式会社朝日新聞出版
営業本部
メディアビジネス部

Tel : 03-5540-7806

Fax : 03-5540-7809

Mail : webAD@asahi.com